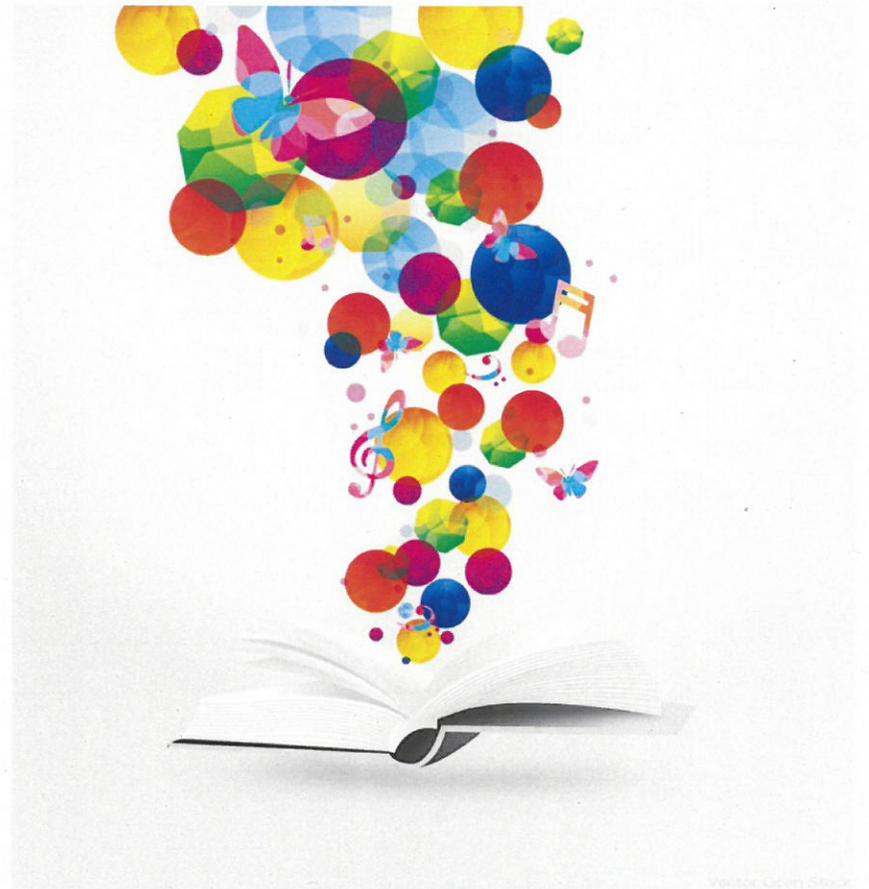


秋田県ブックリーダーによる

「私の一冊」



平成28年8月

秋田県読書活動推進本部

本冊子では県内25名の市町村長を秋田県のブックリーダーの
フロンティアとして、「私の一冊」を御紹介いただいています。



秋田県 市町村長の「私の一冊」 目次

本のある暮らし*読書でつながる心

秋田県では、大人も子どもも読書が好きで、読書によって仲間づくりができる「日本一の読書県」をめざして取組を進めています。**女性や子育て世代では**、読書時間の確保がむずかしいことが、県民意識調査から明らかになっています。自分の読書時間はなくても、子どもへの絵本の読み聞かせをがんばっているお母さんやお父さんには、子どもと一緒に本にふれあう時間を楽しんでくださいと呼びかけています。

働き盛りの世代では、職場に企業内文庫などの設置を進めて、いつでも・どこでも気軽に本が手に取れる環境づくりに努め、大人の読書もサポートしていきます。

暮らしの中に本を、日々のスケジュールの中に読書タイムを取り入れて、家族や仲間とともに読書の楽しさを広げ、コミュニケーションを深めていきましょう。

秋田県ブックリーダーとは

○言葉の意味

「ブックリーダー」とは造語ですが、「リーダー」には「R」で始まる、〈読む人〉〈読書家〉という意味での「Reader」と、〈指導者〉という意味の「L」で始まる「Leader」の2つを掛けており、読書ということを分かりやすくするため、ブックを先頭に付けたものです。

(「great reader」で、「たくさん本を読む人」という意味です。)

○ブックリーダーの拡大

読書活動推進は、県民総ぐるみの運動であることから、例えば、家族の中でお父さんがブックリーダー、高校でビブリオバトル出場者が○○学校ブックリーダー、職場の中でのブックリーダーなど、先頭に立って運動を進めてくれる人に、ブックリーダーと称することを奨励し、県民運動の輪を広げていきたいと考えています。

○『歎異抄をひらく』	秋田市	穂積 志	市長	・・・	2
○『生き方』	能代市	齊藤 滋宣	市長	・・・	2
○『孫子の兵法』	横手市	高橋 大	市長	・・・	3
○『学問のすすめ』	大館市	福原 淳嗣	市長	・・・	3
○『職業としての政治』	男鹿市	渡部 幸男	市長	・・・	4
○『カエルの楽園』	湯沢市	齊藤 光喜	市長	・・・	4
○『炎立つ』	鹿角市	児玉 一	市長	・・・	5
○『武士道』	由利本荘市	長谷部 誠	市長	・・・	5
○『水滸伝』(シリーズ全巻)	潟上市	石川 光男	市長	・・・	6
○『職業としての政治』	大仙市	栗林 次美	市長	・・・	6
○『文明論之概略』	北秋田市	津谷 永光	市長	・・・	7
○『道をひらく』	にかほ市	横山 忠長	市長	・・・	7
○『幸せはあなたの心が決める』	仙北市	門脇 光浩	市長	・・・	8
○『幸せになる生き方、働き方』	小坂町	細越 満	町長	・・・	8
○『松下幸之助「一日一話」』	上小阿仁村	小林 悦次	村長	・・・	9
○『深夜特急』(全編)	藤里町	佐々木 文明	町長	・・・	9
○『学問のすゝめ』	三種町	三浦 正隆	町長	・・・	10
○『悪の管理学』	八峰町	加藤 和夫	町長	・・・	10
○『吉里吉里人』	五城目町	渡邊 彦兵衛	町長	・・・	11
○『偉大なる対話』	八郎潟町	畠山 菊夫	町長	・・・	11
○『うらおもて人生録』	井川町	齋藤 多聞	町長	・・・	12
○『武士道』	大潟村	高橋 浩人	村長	・・・	12
○『栄光なき凱旋』	美郷町	松田 知己	町長	・・・	13
○『竜馬がゆく』	羽後町	安藤 豊	町長	・・・	13
○『男の作法』	東成瀬村	佐々木 哲男	村長	・・・	14

秋田市 穂積 志 市長



『歎異抄をひらく』
著者 高森 顕徹
出版社 1万年堂出版

読書について
読書時間の確保で工夫されていることは
毎日ちょっとした空き時間を利用して、気分転換に様々な書籍に目を通すようにしています。

読書の効用として感じていることは
多くの本を読むことで、物事を様々な角度から捉える事ができるようになり、また、それまで自分が知らなかった自分を知るきっかけを与えてくれるような気がします。

秋田県ブックリーダーとしてのメッセージ
小さいころから本をたくさん読むことで、人とのコミュニケーションにおいて大切な想像力や自分の言葉で考える習慣が身につきます。活字離れが進んでいますが、賢い時間の使い方としても読書をお勧めします。

「善人おもって往生を遂ぐ、いわんや悪人をや」という歎異抄の言葉は、日本の古典で最も知られる一文だろうと思います。

歎異抄は、浄土真宗の開祖である親鸞聖人の門弟の唯円が、師・親鸞から直接聞いた言葉と、信徒たちによる異義に対する唯円自身の反論を記したものとされています。

人は生きていく上で、誰しも不安や悩みを抱えるものですが、歎異抄のわかりやすい意識や解説からなる本書は、思い通りにならない現実とどう向き合えばよいのかといった示唆に富んだ内容となっています。

横手市 高橋 大 市長



『孫子の兵法』
著者 守屋 洋
出版社 三笠書房



歴史関係の書物には度々出てくることから、生きていく上でのバイブルとなり得るのではないかと思います、高校生の頃に読んだ本です。

読書について
読書時間の確保で工夫されていることは
移動中に読書をしています。

読書の効用として感じていることは
他人の経験を自身の教訓に出来ることです。

秋田県ブックリーダーとしてのメッセージ
本をたくさん読むことが出来るくらは、とても贅沢なことです。読書の時間をたっぷり確保し、文化的で豊かなくらしを楽しみましょう。

能代市 齊藤 滋宣 市長



『生き方』
著者 稲盛 和夫
出版社 サンマーク出版

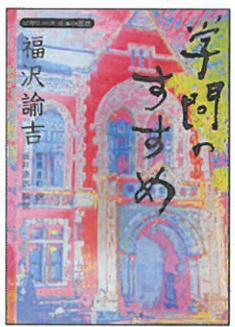
読書について
読書時間の確保で工夫されていることは
寝る前に読書時間を取るか、早朝に読書をしています。

読書の効用として感じていることは
人格の陶冶と、仕事にも活かすことが出来ます。

秋田県ブックリーダーとしてのメッセージ
読書には、無限の可能性を引き出す力があります。

「人間は何のために生きるのか」の問いに明確に答えており、そのことで「どう生きていけば良いのか」、「何故働くのか」等を、自分自身に分かり易く理解させ、日々の生活の指針とすることが出来ます。

大館市 福原 淳嗣 市長



『学問のすすめ』
著者 福沢 諭吉
出版社 角川ソフィア文庫

読書について
読書時間の確保で工夫されていることは
とにかく仕事の合間を縫って作る

読書の効用として感じていることは
沈思黙考によるリフレッシュ!!!

秋田県ブックリーダーとしてのメッセージ
読書は視野を広げ、自身を深める!

第3の開国と言われるTPPを取り巻く我が国の現状は、幕末から維新に至る激動期と酷似していると認識しています。だからこそ、「立国は公にあらざ私なり」等、非常に示唆に富む一冊です。

男鹿市

渡部 幸男 市長



職業としての政治

『職業としての政治』
著者 マックス・ヴェーバー
訳 協 圭平
出版社 岩波書店



a 209
岩波文庫

『職業としての政治』
著者 マックス・ヴェーバー
訳 協 圭平
出版社 岩波書店

読書について

読書時間の確保で工夫されていることは
飛行機や電車での移動時間を出来る限り読書に
あてています。

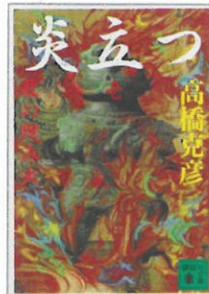
読書の効用として感じていることは
自分の世界が広がることです。

秋田県ブックリーダーとしてのメッセージ
新たな発見をしたり、物語の世界に浸れたり、本
の可能性は無限です。少しずつでも読書する習慣
を身につけて楽しみましょう。

「政治とは、情熱と判断力の二つを駆使しながら、堅い板に力をこめてじわじわと穴をくり貫いていく作業である。」と政治を志す者への心構えが書かれています。1919年の講演をまとめたものですが、21世紀の現代でも真理は変わらないと感じます。自分自身の気持ちを奮い立たせるときに読み返していきます。

鹿角市

児玉 一 市長



『炎立つ』
著者 高橋 克彦
出版社 講談社文庫

読書について

読書時間の確保で工夫されていることは
本を読む時間を意識的に確保するようにしてい
ます。

読書の効用として感じていることは
心を豊かにしてくれるほか、自分をきるきつかけ
を与えてくれます。

秋田県ブックリーダーとしてのメッセージ
読書は知識や考える力を高めるだけでなく、人間
としても成長させてくれます。きっと人生の中で
役に立ちますので、皆さんも読書をして「大切な
一冊」に出会ってほしいと思います。

平成5年から放送されたNHK大河ドラマの原作で、北東北が舞台であり、鹿角市もロケ地になりました。市民もエキストラで参加するなど、当時は大いに盛り上がりました。東北を内地化しようとする朝廷と源氏、安倍一族、出羽の清原一族の戦乱が描かれ、第一部は、鹿角の尾去沢赤沢坑口でロケを敢行し、鹿角に始まり鹿角に終わります。私達の先祖蝦夷側の視点から語られるこの歴史ドラマは、読むものの胸を揺さぶります。

湯沢市

齊藤 光喜 市長



カエルの
楽園

百田尚樹

『カエルの楽園』
著者 百田 尚樹
出版社 新潮社

読書について

読書時間の確保で工夫されていることは
出張時に電車での移動の際に、時間を見つけて読
むことが多くあります。

読書の効用として感じていることは
話題の新刊書は一統する価値があり、非常に勉強
になります。

秋田県ブックリーダーとしてのメッセージ
読書は自身の修養になり、第一面白く心の栄養に
なります。

話題の新刊で本のタイトルに興味をひかれ、また一読の価値ありとインターネットでも紹介されていたので、書店で購入しました。実際に読んでみると、タイトルだけではなく内容も非常に面白く、勉強になりました。

由利本荘市

長谷部 誠 市長



武士道

著者 新渡戸 稲造
出版社 岩波書店



『武士道』
著者 新渡戸 稲造
出版社 岩波書店

読書について

読書時間の確保で工夫されていることは
出来るだけ手の届く範囲に本を置くようにし、細
かな時間を確保するようにしています。

読書の効用として感じていることは
常日頃、思い巡らせていることがあるときも、書
の中で述べられた格言や名言に触れることで、自
身の頭と心をすっきりと整理することができます。

秋田県ブックリーダーとしてのメッセージ
多くの書に触れることで、読者の人生がより豊か
になることをお祈りしています。

私が座右の銘とする言葉の一つに「惻隠の情」があります。これは、孟子の教えて、相手の心情を深く理解する心や同情する心を意味し、この『武士道』において、日本人の精神に大きく影響を与えたとしてまとめられています。それに通じるものとして、私が修行している剣道では「打って反省、打たれて感謝」という言葉があります。これを政治の道に置き換えれば、常に市民の目線に立ち、小さな声に耳を傾けながら、市民生活の安定向上のため努力することが重要であると常に心にとめています。



潟上市

石川 光男 市長



『水滸伝』(シリーズ全巻)
著者 北方 謙三
出版社 集英社

読書について

読書時間の確保で工夫されていることは

読書の効用として感じていることは

秋田県ブックリーダーとしてのメッセージ
読書に埋没はいたらないと思っています。
職員にはなんでも良いから本を読めと言っています。

北方謙三のオリジナルに圧倒されました。



北秋田市

津谷 永光 市長



『文明論之概略』



『文明論之概略』
著者 福沢 諭吉
出版社 岩波書店



慶應義塾大学3~4年生の2年間学ばせていただいた故小尾恵一郎教授のゼミナルで、計量経済学のゼミでありながら、サブゼミや合宿等で、本著の輪読と研究を課され、難解さに閉口しながらも、国家や日本人の気概と精神についても学ばせていただいた私の青春時代と恩師との思い出の一冊です。

読書について

読書時間の確保で工夫されていることは
就寝前の30分と出張等での移動中

読書の効用として感じていることは
気分転換と新たな発見

秋田県ブックリーダーとしてのメッセージ
北秋田市立図書館、各公民館図書室、市民ふれあいプラザコムコムにも図書と読書スペースもあるし、商店街の本屋さんもあるので、まず皆さん気軽に本を手にとってみましょう。(若干の自省をこめて)



大仙市

栗林 次美 市長



『職業としての政治』
著者 マックス・ヴェーバー
訳 脇 圭平
出版社 岩波書店

読書について

読書時間の確保で工夫されていることは
興味ある本は多忙で読めなくても購入するようにしています。

読書の効用として感じていることは
深くものごとを考えるという習慣が身につくことです。

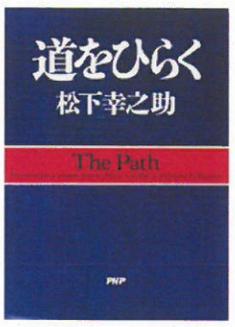
秋田県ブックリーダーとしてのメッセージ
県民の皆さんにもっと本に親んでもらいたいです。

日々の仕事に対する反省から、何度も読み返している大切な本です。



にかほ市

横山 忠長 市長



『道をひらく』
著者 松下 幸之助
出版社 PHP研究所

読書について

読書時間の確保で工夫されていることは
移動の車中での時間を、読書に費やしています。

読書の効用として感じていることは
読書には幅広い分野に関する様々な情報や考え方に触れる機会が多くあり、知識を増やすと共に、非日常を味わうことからストレス解消にもなります。

秋田県ブックリーダーとしてのメッセージ
私は読書を自分磨きの「旅」と思っています。皆さんも読書で「旅」をしてみてください。

この本は、どの言葉を抜き取っても、そこには私利私欲に捉われず、謙虚に、社会に貢献しようとする精神が見てとれる松下幸之助氏の短編随想集であります。その時の自分に振りかかっていることを踏まえて読むことにより、「気づき」を与えてくれます。また、いつの時代にもとらわれず、色褪せずに心に沁みるところが読み返しにつながっている一冊です。



仙北市

門脇 光浩 市長



上小阿仁村

小林 悦次 村長



幸せは
あなたの心が決める
渡辺和子



『幸せはあなたの心が決める』
著者 渡辺 和子
出版社 PHP研究所

読書について
読書時間の確保で工夫されていることは移動時間を読書や執筆にあてています。

読書の効用として感じていることは別人になったり別世界に入ったり、時空を超えた旅を楽しむことができます。

秋田県ブックリーダーとしてのメッセージ
本は友達！！

「置かれた場所で咲きなさい」も大好きです。生きる力をいただける両書です。
常に愛のある人でいたいと思える一冊に巡り合えました。



『松下幸之助「一日一話」』
著者 松下 幸之助
出版社 PHP研究所

「素直な心」になれば、していいこと、してならないことの区別も明らかとなり、また正邪の判別もあやまることなく、何をなすべきかもおのずとわかってくる。素直な心になったならば、「強く正しく聡明になる」と松下幸之助氏は、書いておられます。また、「学ぶ心」の中では、一つとして師ならざるものはない。どんなことから、どんな人からも、謙虚に、素直に学びたい。学ぶ心が旺盛な人ほど、新しい考えを作り出し、獨創性を発揮する人だとも書いておられます。私にとっては、大部分で、消化不良の状態ですが、いつか、作者が本当に言いたいことが解かるときが来ることを信じて、困ったときやストレスのある時に、ついつい、松下氏の本を開いております。

読書について
読書時間の確保で工夫されていることは早く、ふとんに入ることを心掛けて、最初5時間位の睡眠を確保してから、その後、読書の時間としています。

読書の効用として感じていることは読書をすることで、リフレッシュ効果があるとともに、新しいことへの挑戦ができ、私にとっては、救世主のような存在です。

秋田県ブックリーダーとしてのメッセージ
ブックリーダーの遺語については、すばらしい発想だと思っております。日本人には、Rもしも同じ発音でのリーダーだと思っておりますので、読書家と指導者のリーダーは、PR 効果が抜群であると思えます。考えた人は、すばらしいし、その思いと目的がきっと達成できると期待しております。



小坂町

細越 満 町長



藤里町

佐々木 文明 町長



『幸せになる
働き方、
働き方』
塚越寛

『幸せになる働き方、働き方』
著者 伊那食品工業会長 塚越 寛
出版社 PHP研究所

読書について
読書時間の確保で工夫されていることは少しだけ早く起きて読む。

読書の効用として感じていることは

秋田県ブックリーダーとしてのメッセージ
自分は本を読むが遅いです。皆さん、たくさん読んでください。

会長が当時21歳で「社長代行」を務めることになり、「どん底」からのスタートをきった。その後七転八倒しながら会社を建て直し、ただひたすら社員の幸せを願って日々努力をしてきた。その結果、ゆっくりとした歩みながら気がつくと48年間連続で増収増益という実績を残すことになった。
「人生には限りがある。無駄に過ごしていい日など人生には一日もない」から始まります。リーダーとしてどのように社員を引っ張って幸福に導くのか、今の世の中を生きる哲学を教える本であると思います。若い方にも是非読んでいただきたい。



『深夜特急』（全編）
著者 沢木 耕太郎
出版社 新潮文庫

ノンフィクション物が好きなので、臨場感あふれる表現が心を揺さぶる。路地裏の様々な臭いが混在した感覚とか、空気が陽炎のように揺らぐ情景とかが生々しい。
若い方々が余り冒険をしないようなので、このような作品にふれて体感していただきたい。自分の実体験として読み進めて行く、あたかも自分がその場にいるような気になります。

読書について
読書時間の確保で工夫されていることは早寝早起き（早朝に読書をする）。時間の有効活用（電車、飛行機等の移動時間を利用）

読書の効用として感じていることはその場を想像しながら読み進めて行くと、表現や息遣い、色、臭いがそのまま感じられるように、頭に残ります。

秋田県ブックリーダーとしてのメッセージ
とにかく何でも良いの本を読むこととお勧めします。その内に自分の好きなジャンルに出会います。



三種町

三浦 正隆 町長



『学問のすゝめ』
 著者 福沢 諭吉
 現代語訳 檜谷 昭彦
 出版社 三笠書房



読書について

読書時間の確保で工夫されていることは出張とかの移動中、まとまった時間が取りやすいので活用しています。

読書の効用として感じていることは

読書は知的好奇心を育むものであり、また、新しいものの見方を発見する喜びを与えてくれる。

秋田県ブックリーダーとしてのメッセージ

“良い習慣は才能を超える”という言葉があるが、「読書」という習慣は誰もが大きい可能性を秘めている。

学生時代に文語体の岩波文庫を読みましたが、結局は挫折。この本は現代語訳ですからスラスラ読めます。タイトルは「勉強しなさい」という風ですが、中身は至ってざっくばらんで、明治5年の堂々のベストセラーでした。特に面白かったのは第2編「勉強しない人ほど損な人はいない」の部分です。地頭と百姓、旧幕時代の武士と町民、新政府の役人と人民などそれぞれの身分格差を例に引き、貧富強弱の差を悪用して政府が権力の勢いで弱い人民の権利を妨げたからで、これを防ぐためには学問に志し、才能と品格を磨き、政府に対抗して同等の資格と地位に立っただけの実力を持たねばならない、と説いているところです。本書は現代社会に生きる私達にとっても示唆するものが沢山あります。



五城目町

渡邊 彦兵衛 町長



『吉里吉里人』
 著者 井上 ひさし
 出版社 新潮文庫



読書について

読書時間の確保で工夫されていることは好きな本を、日常生活や仕事において空いている時間を工夫して読んでいます。

読書の効用として感じていることは

気持ちが落ち着き、気分転換にもなります。そして、様々なことに思いをめぐらす良いきっかけとなっています。

秋田県ブックリーダーとしてのメッセージ
 本に親しむことにより生み出される感動と想像は、それぞれの未来への希望と夢につながっています。読書を通じたところ豊かなひとづくりを応援します。

東日本大震災で五城目町の住人が助けられた地区が岩手県大槌町の吉里吉里地区で、この地名から随分前に読んだ長編小説「吉里吉里人」を思い出し、久々に読み返した本です。

東北の一村落が、日本の経済・農業・医療等の政策に振り回され、日本から独立しようとするが、たった一日半で圧殺される内容となっており、井上ひさし流の斬新な表現と豊富な言語遊戯を堪能できる1冊です。



八峰町

加藤 和夫 町長



『悪の管理学』
 著者 川上 哲治
 出版社 光文社文庫



読書について

読書時間の確保で工夫されていることは時間管理の悪さもあって、なかなか自宅で読書時間を取れないので、移動する車中や出張時を活用しています。

読書の効用として感じていることは

多様な考え方を知ることが出来ます。

秋田県ブックリーダーとしてのメッセージ

気軽に町の図書館を活用して欲しいと思っています。今年度から、移動図書館で集落巡回します。

私がこの本と出合ったのは、昭和57年、国立市の中央郵政研修所で訓練を受けていた時であります。「リーダーの役割」について学ぶ一助として購入し、今日まで折に触れては読み直している一冊であります。

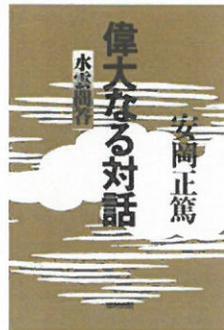
プロ野球では阪神ファンの私ですが、日本シリーズV9を成し遂げた川上哲治巨人軍監督の組織を動かす力に共鳴するものがあつたからです。

タイトルの「悪」は、組織の目標達成のために「悪者」に徹した川上氏の信念を表現したものと受け止めております。



八郎潟町

畠山 菊夫 町長



『偉大なる対話』
 著者 安岡 正篤
 出版社 福村出版

読書について

読書時間の確保で工夫されていることは移動時の車中や出張時の時間を利用して読んでいます。

読書の効用として感じていることは人格形成において欠くことは出来ません。

秋田県ブックリーダーとしてのメッセージ
 碩学大儒の文章は、絶えず自分の座右に置くことで、自らを深めることにつながっていきます。

安岡先生は、肥前平戸藩の名君松浦静山の随筆「甲子夜話」巻三十九に輯録されている「水雲問答」を愛読されておりました。この「水雲問答」とは、上州安中藩の碩学者板倉伊予守勝尚と彼に師事した幕府学頭 林述斎との往復書翰集です。両者の問答を通じて、いかに互いの識見を磨きあっていたか、安岡先生の解説による本では是非一読を。

井川町

齋藤 多聞 町長



うらおもて人生録



『うらおもて人生録』
著者 色川 武大
出版社 新潮文庫

読書について

読書時間の確保で工夫されていることは
電子書籍を活用し、細切れ時間に読書をするように心がけています。

読書の効用として感じていることは
貴重な情報源のひとつ、先人の経験や知見、教訓など、他人の考えを得ることで、視野が広がり新たな発想につながるものと感じています。

秋田県ブックリーダーとしてのメッセージ
読書がすぐに役に立つことは、もしかしたら少ないかもしれませんが、自分がこれまで知らなかった世界に出会っていると感じ、多くの本を読むことで、幅広い知識や教養が得られ、きっと人生が豊かになるのだと信じています。

著者が劣等生として生きてきた中で体得した、生きていくうえでの技術を若者に説いた本。劣等生に向けて書いたと著者は語っていますが、私が手にしたのは、大学受験に失敗し、落ち込んでいた時で、どれほど勇気付けられたかわかりません。人生における勝負の重みやセオリー、心構えなど、数多くのことを学び、糧となった一冊で、悩んだ時、岐路に立つたびに読み返していますが、その度に新たな発見があります。是非若い方に読んでいただきたい本です。

美郷町

松田 知己 町長



『栄光なき凱旋』
著者 真保 裕一
出版社 文春文庫

読書について

読書時間の確保で工夫されていることは
出張時の移動時間及び就寝前の僅かな時間が主な読書の時間です。その時間を意識して大切にしています。

読書の効用として感じていることは
知識を得ること、思慮のきっかけにすること、多様な人生を仮想で生きることによって多様な価値観を考へることが効用ではないかと思っています。

秋田県ブックリーダーとしてのメッセージ
文字を読むことから得られることは大きいですが、時間を見つけ、できる範囲で本を読みましよう！

その先を読みたくなり、時間を忘れて頁をめくる本。これが「おもしろい本」の基準ではないかと思っています。この「栄光なき凱旋」はまさにそれです。テーマに第二次世界大戦、日系人、青年の苦悩と葛藤などを据え、そのストーリー展開をサスペンスの流れで紡ぎ、「やめられない止まらない」というおもしろさがある本です。第二次世界大戦における日系人部隊の活躍など歴史の勉強にもなるとともに、多様な価値観について思慮させられた本でした。私にとって忘れがたい大切な本の一つです。

大潟村

高橋 浩人 村長



武士道



『武士道』
著者 新渡戸 稲造
出版社 教文館

読書について

読書時間の確保で工夫されていることは
公務等での移動の時などを利用し時間を確保している

読書の効用として感じていることは
新しい発見や楽しみに触れる

秋田県ブックリーダーとしてのメッセージ
本は、未知の世界への扉です。

私は、大学を卒業して派米農業研修で、オレゴン州の農場の一軒家に住んで農作業をしていました。人と話もできない様な田舎で、小さな教会の牧師さんに誘われ、英会話上達のために日曜日に顔を出すようになりました。そうしたなか、日本の仏教や日本人のアイデンティティについて聞かれることもあり、ほとんど答えられない自分を情けなく思った次第です。
帰国後、日本について少しは勉強しようと、読んだ本の一つが武士道でした。アメリカに行く前に読んでいれば、少しは違っていたと思います。

羽後町

安藤 豊 町長



『竜馬がゆく』
著者 司馬 遼太郎
出版社 文春文庫

読書について

読書時間の確保で工夫されていることは
出張など移動の交通機関内で読書している。

読書の効用として感じていることは
実体験では得られない別の世界を学べる。

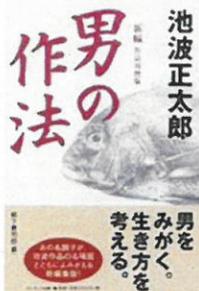
秋田県ブックリーダーとしてのメッセージ
読書は人生を豊かにします。大いに本を読みましよう！！

歴史小説が好きで、特に司馬遼太郎の著書は若い頃にほとんど読みました。中でも「竜馬がゆく」は、幕末から明治の回天期まで、疾風のように駆け抜けた坂本竜馬の一代記であり、心躍らせてあっという間に全8巻を読みました。
最後は明治維新を見ることもなく若くして暗殺されましたが、その発想や行動力は目を見張るものがあり、血沸き肉躍るまさに青春のヒーローともいえます。私を政治の道に向かわせたのもこの本の影響が大きいと思います。



東成瀬村

佐々木 哲男 村長



『男の作法』
著者 池波 正太郎
出版社 サンマーク出版

読書について

読書時間の確保で工夫されていることは
特にありませんが、就寝前のわずかな時間（すぐ
眠ってしまうが・・・）と、出張時の移動の時間
が読書タイム

読書の効用として感じていることは
気分転換と読書後の充実感

秋田県ブックリーダーとしてのメッセージ
どんな本でも気軽に手に取って欲しい

わずかな時間でも「ちょっと読もうかな？」と思ったときに、
手にとってぱっと開き、開いたところから読み始めることができ
る本です。

人の生き様、あるべき姿勢、機微人情に触れることができ、す
っぱりと結論が出るので、とても痛快で参考になります。そんな
生き方、考え方もあるんだと改めて感じ入ります。

一方、著者は洗練された食通であり、つつい食べたくなくなっ
てしまいます。そんな環境にたく残念ではありますが、随筆や小説
で描写される小料理屋の雰囲気について触れてみたいものです。

秋田県の読書活動推進体制について

- 秋田県では「読書活動は県民が人生を豊かに生きる上で大切なものであり、文化的
で豊かな社会の構築に寄与するものである」という「秋田県民の読書活動の推進に
関する条例」の基本理念にのっとり、県民総ぐるみでの読書活動推進に取り組んで
います。
- 運動母体として、知事を本部長とする推進本部を設置し、教育庁を始め各部局との
施策連携や市町村が設置する学校や図書館等との連携、さらには市町村との協働に
より、「秋田県読書活動推進基本計画」に基づき、読書環境の整備を推進しています。

秋田県読書活動推進本部

●事務局 秋田県企画振興部総合政策課
〒010-0952
秋田市山王新町 14-31（県立図書館2F）
TEL 018-862-5200
FAX 018-862-5110



秋田県民の読書活動の推進に関する条例

平成22年3月30日
秋田県条例第25号

(目的)

第1条 この条例は、県民の読書活動の推進に関し、基本理念を定め、県の責務を明らかに
するとともに、県民の読書活動の推進に関する施策の基本的な事項を定めることにより、
県民の読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって県民一人ひとりの
心豊かな生活と活力ある社会の実現に資することを目的とする。

(基本理念)

第2条 読書活動は、県民が人生を豊かに生きる上で大切なものであり、文化的で豊かな社
会の構築に寄与するものであることにかんがみ、すべての県民が読書活動を容易に行うこ
とができるよう、そのための環境の整備が積極的に推進されなければならない。

(県の責務)

第3条 県は前条に定める基本理念にのっとり、県民の読書活動の推進に関する総合的な施
策を策定し、及び実施するものとする。

(県民読書活動推進基本計画)

第4条 県は、県民の読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、
県民の読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「基本計画」という。）を策定するも
のとする。

- 2 県は、毎年、基本計画により実施した施策を議会に報告するものとする。
- 3 県は、必要があると認めるときは、基本計画を変更するものとする。

(財政上の措置等)

第5条 県は、県民の読書活動の推進に関する施策を実施するために必要な財政上の措置そ
他の措置を講ずるものとする。

(関係機関等との連携)

第6条 県は、県民の読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、市町村が設置
する学校又は図書館その他の関係機関及び民間団体との連携に努めるものとする。

(委任)

第7条 この条例の施行に関し必要な事項は、知事が定める。

附 則

この条例は、平成22年4月1日から施行する。



THE BOOK *LEADERS* 2016
READERS